

採用窓口

職業安定局総務課人事給与係 **03-5253-1111** (内線 5714)

採用実績

入省年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
人数	4人(2人)	4人(2人)	6人(4人)	4人(1人)	4人(2人)	4人(2人)

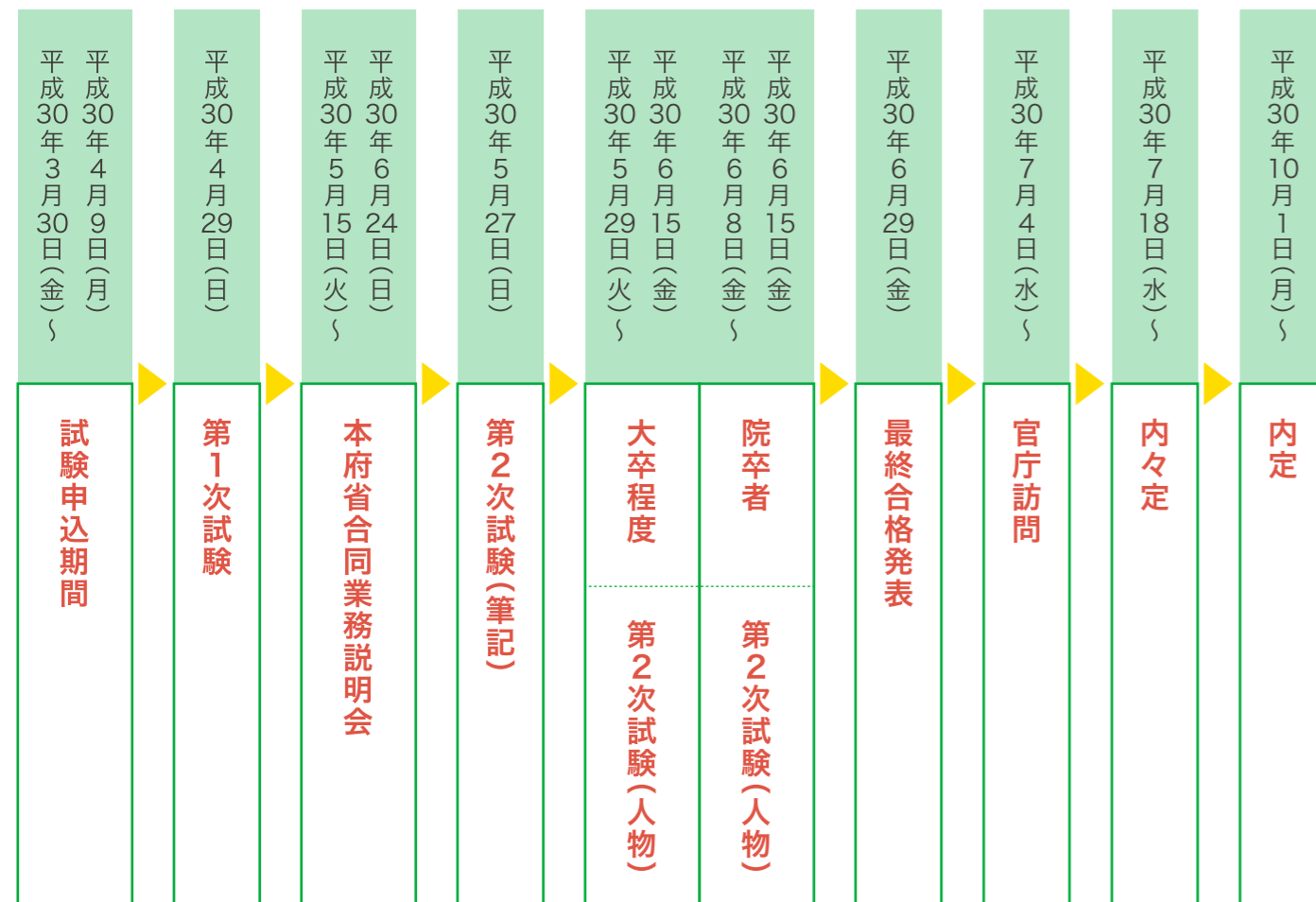
※()内は女性の内数。31年度の人数は内定者数。

採用スケジュール

●平成32年度採用予定者を対象とした、業務説明会や採用手続きのスケジュールは、人事院の「国家公務員試験採用情報NAV1」(<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)や、厚生労働省ホームページ(http://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/kokka1/ningen_kagaku.html)に掲載されますのでご覧ください。

- 試験申込日以前の人事院主催の業務説明会等の予定は以下のとおりです。
 - ・「総合職中央省庁セミナー」：平成31年3月6日(水)～31年3月16日(土)に各地で開催。
 - ・「霞ヶ関OPENゼミ」：平成31年3月4日(月)・5日(火)のいずれかに開催。

●前回(平成31年度入省者対象)の実績は以下のとおり。



厚生労働省は福祉・医療・雇用などの面から「人」の一生に関わる仕事を担当していますが、人間科学職は中でも特に人が人生の時間の多くを費やすことになる「職業」をめぐって、専門的に追求していく仕事を担っています。

課題を抱えた個々の人間に対して直接向き合っ一つひとつ解決していく個別支援の手法もありますが、むしろ人間科学職には、公共政策を企画立案したり、さまざまな部署や関係者との調整を行ったり、現場の業務に対する指導を通じてこれを実現していくことが求められます。

個別支援の手法を理解したうえで、さまざまな事業・業務・制度・助成金・補助金などの仕組みを創設・改善したり、関係団体などとの連携の体制を構築したり、事業主や国民に対する指導・啓発を進めたり、あるいは現場で用いられる診断・評価・相談・カウンセリング・指導などの手法を開発してさまざまな技法・ツール・マニュアル・データベースなどを構築したり、現場の相談機能がうまくワークするよう効果的な指導を行ったり、組織マネジメントの方法を検討したりすることなどを通じて、それを成し遂げていくことが求められているのです。

このため人間科学職には、まずは「総合職」としての企画立案の能力、調整の能力、指導能力などが求められます。さらにこれを突き詰めていくと、積極性、理解力、説明力、論理構成力、リーダーシップ、コミュニケーション能力などが求められることになります。

課長・首席職業指導官クラス以上

都道府県労働局長として地方労働行政の総責任者となる場合もあります



室長・企画官クラス



課長補佐クラス

都道府県労働局や独立行政法人の管理職としてマネジメント業務に従事する場合もあります



係長クラス

(5年間程度)



係員クラス

(4年間程度)



(注:この図は一例であり、本人の能力・適性、勤務成績、希望などにより異なります。)